

第2号議案

需要抑制計画等受領業務ビジネスプロトコル標準規格の制定について  
(案)

業務規程第187の1に基づき、系統利用者と本機関で相互に電子情報を交換するための標準規格となる、需要抑制計画等受領業務ビジネスプロトコル標準規格を制定する。

なお、制定した内容については、本機関のウェブサイトにて公表する。

(制定・公表日 平成29年2月22日)

以上

【添付資料】

別紙：需要抑制計画等受領業務ビジネスプロトコル標準規格

**需要抑制計画等受領業務  
ビジネスプロトコル標準規格**

(Ver. 3A)

2017年2月  
電力広域的運営推進機関

電力広域的運営推進機関

## はじめに

現在、産業界においては、産業の情報化の進展に伴い、業務の迅速化、高精度化、低コスト化を実現するために広く認められた標準を使用して、関係する企業及び業界間でデータの電子的な相互交換を行うEDI (Electronic Data Interchange)が行なわれており、各業界内だけでなく業際大でもその推進活動が活発化してきている。

そこで、今般、電力広域的運営推進機関(以下「本機関」という。)は、業務規程に基づき、広く意見募集を実施し系統利用者の意見聴取を行うとともに、全ての一般電気事業者の送配電部門、並びに複数の特定規模電気事業者及び発電設備設置者と協議の上、本機関と一般送配電事業者(以下「送配電事業者」という。)、小売電気事業者、発電事業者、需要抑制契約者等の中で EDI を行う際に必要となる事項の内、送配電等業務指針、託送供給約款等に基づき行う需要抑制計画等を提出する際のビジネスプロトコルの標準として、「需要抑制計画等受領業務ビジネスプロトコル標準規格」(以下、「本規格」という。)を制定する。

[改定履歴]

BPID 版	制(改)定年月日	制(改)定概要	備考
3A	2017年 2月 22日	新規制定 BPID 機関コード:”OCTO” BPID 副機関コード:”W8”	

## 目次

1. 業務概要	4
1. 1 業務目的	4
1. 2 対象業務	4
1. 3 業務イメージ	4
2. 業務プロセス	5
2. 1 業務フロー	5
2. 2 メッセージ一覧	6
3. 標準メッセージ	6
3. 1 需要抑制計画関係メッセージのデータ要素	6
4. 通信手順	8
4. 1 メッセージグループヘッダ	8
5. ビジネス運用規則	9
5. 1 メッセージ	9
5. 1. 1 メッセージファイルの構成単位	9
5. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則	9
5. 1. 3 メッセージの分割（オプション）	10
5. 1. 4 送信者への受信結果の報告	11

## 1. 業務概要

### 1. 1業務目的

需要抑制契約者は、需要抑制を行う際にその計画の妥当性の担保や需要抑制計画・実績を円滑に把握できるよう、本機関又は送配電事業者の需給運用に必要な需要抑制計画を本機関へ提出する。また、本機関は、受領した需要抑制計画を送配電事業者に送信し、送配電事業者はこれを受信する。

### 1. 2対象業務

需要抑制契約者、送配電事業者及び本機関における需要抑制計画の提出、受領、送信及び受信に関する業務を対象とする。

### 1. 3業務イメージ

需要抑制計画を提出する際の基本的な業務イメージを図1-1に示す。

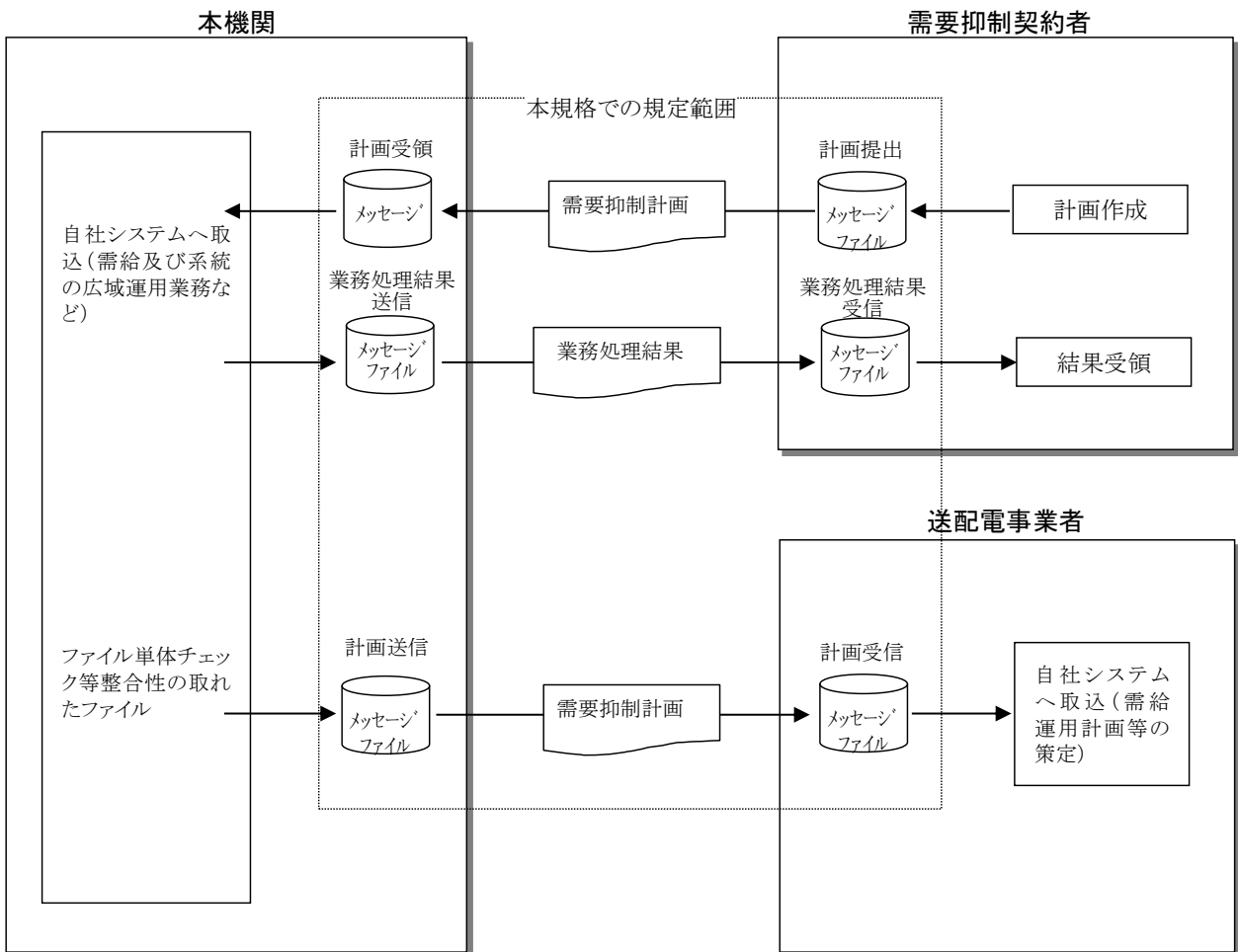


図1-1 業務イメージ

## 2. 業務プロセス

### 2. 1 業務フロー

需要抑制計画の基本的な業務フローを表2-1、図2-1に示す。

表2-1 需要抑制計画の提出に関する説明一覧

業務名	説明	備考
1-1 需要抑制計画提出・結果受領	需要抑制契約者は、送配電等業務指針、託送供給約款等に基づき需要抑制計画を作成し、本機関へ提出する。また、需要抑制計画提出後、本機関から通知される業務処理結果を受領する。	業務処理結果の通知は、一部の需要抑制計画のみ。
1-2 需要抑制計画受領・送信	本機関は、需要抑制契約者から提出される需要抑制計画をシステムに取込み、需給及び系統の広域運用業務等を行い、その業務処理結果を該当の需要抑制契約者に通知する。 また、需要抑制契約者から受領した需要抑制計画の整合性を確認し、送配電事業者へ送信する。	
1-3 需要抑制計画受信	送配電事業者は、本機関から送信される需要抑制計画を自社システムに取込み、需給運用計画策定等の業務を行う。	

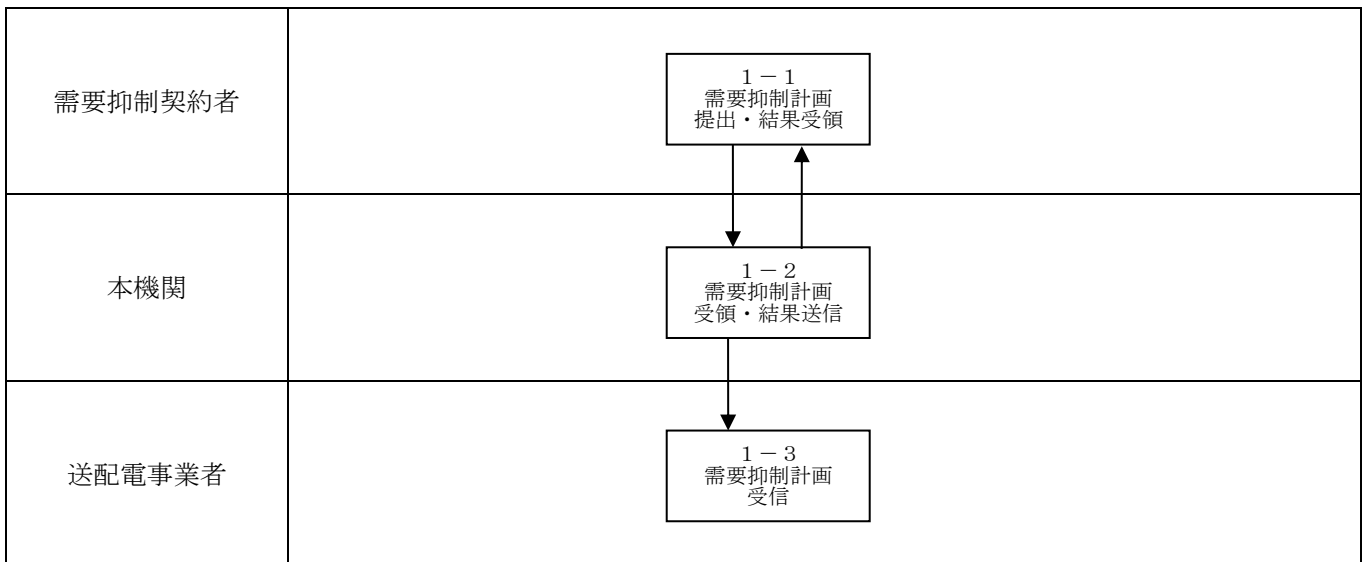


図2-1 業務フロー

## 2. 2メッセージ一覧

本規格で規定する標準メッセージを表2-2に示す。

表2-2 標準メッセージ一覧

メッセージ名称	説明	
翌日需要抑制計画メッセージ	翌日の需要抑制計画	需要抑制を行うエリア内の需要抑制計画、調達計画及び販売計画
週間需要抑制計画メッセージ	週間(翌週～翌々週)の需要抑制計画	
月間需要抑制計画メッセージ	月間(翌月～翌々月)の需要抑制計画	
年間需要抑制計画メッセージ	年間(第1～第2年度)の需要抑制計画	
翌日需要抑制計画不整合通知メッセージ	翌日の需要抑制計画の不整合通知	

## 3. 標準メッセージ

### 3. 1 需要抑制計画関係メッセージのデータ要素

需要抑制計画関係メッセージのデータ要素を表3-1に示す。なお、翌日需要抑制計画不整合通知メッセージも同様のデータ要素とする。

表3-1 需要抑制計画関係メッセージのデータ要素 (表3-1-2へ続く)

タグ名	データ要素名	説明	共通コード(注1)	使用区分(注2)				属性	繰返し(注3)	
				翌日	週間	月間	年間		番号	最大回数
JP00002	情報区分コード	メッセージの種類を示すコード	○	●	●	●	●	X(4)		
JP06170	情報区分名称	メッセージの種類の名		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	○	●	●	●	●	X(5)		
JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを本機関から転送する事業者を示すコード	○	●	●	●	●	X(5)		
JP06359	提出先事業者名称	当該ファイルを本機関から転送する事業者の名		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06360	BG/提出者コード	BGコード又は計画提出者コード	○	○	○	○	○	X(5)		
JP06361	BG/提出者名称	BG名称又は計画提出者名称		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06171	対象期間開始年月日	計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD		●	●	●	●	Y(8)		
JP06613	帳票作成支援ツール名	帳票作成支援ツールバージョン(帳票作成支援ツールから自動生成)		▲	▲	▲	▲	X(50)		
-----	(需要抑制計画)	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	M10	999
JP06234	データ変更コード	計画変更の有無を示すコード	○	▲	▲	▲	▲	X(1)		
JP06600	需要抑制BGコード	需要抑制BGを識別するコード	○	○	○	○	○	X(5)		
JP06601	需要抑制BG名称	需要抑制BGの名		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06602	需要抑制契約識別番号1	需要抑制量調整契約を識別する番号		○	○	○	○	X(20)		
JP06366	取引先BGコード	取引先のBGを識別するコード	○	○	○	○	○	X(5)		
JP06367	取引先BG名称	取引先のBG名		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06316	事業者コード	取引先BGに所属する事業者コード	○	○	○	○	○	X(5)		
JP06317	事業者名称	取引先BGに所属する事業者名		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06232	優先順位	振り分け順位(注4)		○	—	—	—	9(2)		
JP06233	プロラタ内優先順位	振り分け時のプロラタ内優先順位の指定		▲	—	—	—	9(1)		
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	M11	999
JP06400	供給地点特定番号	託送供給に関わる電気を供給する地点を識別する番号		△	△	△	△	X(22)		
JP06603	需要抑制契約識別番号2	「需要抑制契約識別番号1」の補助番号		▲	▲	▲	▲	X(20)		
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	M12	(注5)(注6)
JP06214	年YYYY	年YYYY		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(4)		
JP06215	月MM	月MM		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(2)		
JP06216	週W	週W(注5)		—	○(注6)	○(注6)	—	9(1)		
JP06217	日DD	日DD		—	○(注6)	—	—	9(2)		
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード(01~48)	○	○(注6)	—	—	—	X(2)		
JP06218	平日休日コード	平日休日の別を示すコード	○	—	—	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06220	最大最小コード	最大最小の別を示すコード	○	—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06221	最大最小予想時刻	最大最小予想時刻 hhmm		—	○(注6)	—	—	X(4)		
JP06604	ベースライン(地点毎)	ベースライン(kWh)		○(注6)	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	N(9)		
JP06605	抑制計画値(kW)	抑制計画電力(kW)		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	N(9)		
JP06606	抑制計画値(kWh)	抑制計画電力量(kWh)		○(注6)	—	—	—	N(9)		
JP06234	データ変更コード	M12ループ内データ要素値の変更の有無を示すコード(注7)	○	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	X(1)		
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	M12	
JP06234	データ変更コード	計画変更の有無を示すコード	○	▲	▲	▲	▲	X(1)		
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	M11	



表3-1-2 需要抑制計画関係メッセージのデータ要素 (表3-1-1の続き、表3-1-3へ続く)

タグ名	データ要素名	説明	共通コード (注1)	使用区分(注2)				属性	繰返し(注3)	
				翌日	週間	月間	年間		番号	最大回数
JP06214	年YYYY	年YYYY		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(4)	M13	(注3)
JP06215	月MM	月MM		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(2)		
JP06216	週W	週W (注5)		—	○(注6)	○(注6)	—	9(1)		
JP06217	日DD	日DD		—	○(注6)	—	—	9(2)		
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	○	○(注6)	—	—	—	X(2)		
JP06218	平日休日コード	平日休日の別を示すコード	○	—	—	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06220	最大最小コード	最大最小の別を示すコード	○	—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06221	最大最小予想時刻	最大最小予想時刻 hhmm		—	○(注6)	—	—	X(4)		
JP06607	ベースライン(抑制BG計)	ベースライン(kWh)		○(注6)	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	N(9)		
JP06610	抑制計画値抑制BG計(kW)	抑制計画値の抑制BG合計(kW)		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	N(10)		
JP06608	抑制計画値抑制BG計(kWh)	抑制計画値の抑制BG合計(kWh)		○(注6)	—	—	—	N(10)		
JP06234	データ変更コード	M13ループ内データ要素値の変更の有無を示すコード(注7)	○	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	X(1)		
									M13	
									M10	
	(抑制計画値抑制契約者計)								M14	1
JP06234	データ変更コード	計画変更の有無を示すコード	○	▲	▲	▲	▲	X(1)		
									M15	(注3)
JP06214	年YYYY	年YYYY		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(4)		
JP06215	月MM	月MM		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(2)		
JP06216	週W	週W (注5)		—	○(注6)	○(注6)	—	9(1)		
JP06217	日DD	日DD		—	○(注6)	—	—	9(2)		
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	○	○(注6)	—	—	—	X(2)		
JP06218	平日休日コード	平日休日の別を示すコード	○	—	—	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06220	最大最小コード	最大最小の別を示すコード	○	—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06221	最大最小予想時刻	最大最小予想時刻 hhmm		—	○(注6)	—	—	X(4)		
JP06611	抑制計画値抑制契約者計(kW)	抑制計画値の抑制契約者合計(kW)		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	N(10)		
JP06612	抑制計画値抑制契約者計(kWh)	抑制計画値の抑制契約者合計(kWh)		○(注6)	—	—	—	N(10)		
JP06234	データ変更コード	M15ループ内データ要素値の変更の有無を示すコード(注7)	○	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	X(1)		
									M15	
									M14	
	(調達計画)								M16	1
JP06234	データ変更コード	計画変更の有無を示すコード	○	▲	▲	▲	▲	X(1)		
									M17	(注3)
JP06214	年YYYY	年YYYY		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(4)		
JP06215	月MM	月MM		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(2)		
JP06216	週W	週W (注5)		—	○(注6)	○(注6)	—	9(1)		
JP06217	日DD	日DD		—	○(注6)	—	—	9(2)		
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	○	○(注6)	—	—	—	X(2)		
JP06218	平日休日コード	平日休日の別を示すコード	○	—	—	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06220	最大最小コード	最大最小の別を示すコード	○	—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06221	最大最小予想時刻	最大最小予想時刻 hhmm		—	○(注6)	—	—	X(4)		
JP06368	調達量(kW)	電力(kW)		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	N(9)		
JP06369	調達量(kWh)	電力量(kWh)		○(注6)	—	—	—	N(9)		
JP06234	データ変更コード	M17ループ内データ要素値の変更の有無を示すコード(注7)	○	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	X(1)		
									M17	
									M18	999
JP06366	取引先BGコード	取引先のBGを識別するコード	○	○	○	○	○	X(5)		
JP06367	取引先BG名称	取引先のBG名称		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06385	申込番号	託送可否判定申込み時の受付番号		○	—	—	—	X(13)		
JP06372	自動紐付除外コード	連系線利用計画の自動紐付を除外するためのコード	○	○	○	○	○	X(1)		
JP06373	電源特定コード	自動紐付除外のための相対先(発電BG又は系統、系統群)を識別するコード	○	▲	▲	▲	▲	X(5)		
JP06374	広域指示コード	本機関からの指示の有無を示すコード	○	○	○	○	○	X(1)		
JP06234	データ変更コード	計画変更の有無を示すコード	○	▲	▲	▲	▲	X(1)		
									M19	(注3)
JP06214	年YYYY	年YYYY		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(4)		
JP06215	月MM	月MM		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(2)		
JP06216	週W	週W (注5)		—	○(注6)	○(注6)	—	9(1)		
JP06217	日DD	日DD		—	○(注6)	—	—	9(2)		
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	○	○(注6)	—	—	—	X(2)		
JP06218	平日休日コード	平日休日の別を示すコード	○	—	—	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06220	最大最小コード	最大最小の別を示すコード	○	—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06221	最大最小予想時刻	最大最小予想時刻 hhmm		—	○(注6)	—	—	X(4)		
JP06368	調達量(kW)	電力(kW)		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	N(9)		
JP06369	調達量(kWh)	電力量(kWh)		○(注6)	—	—	—	N(9)		
JP06234	データ変更コード	M19ループ内データ要素値の変更の有無を示すコード(注7)	○	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	X(1)		
									M19	
									M18	
									M16	
	(販売計画)								M20	1
JP06234	データ変更コード	計画変更の有無を示すコード	○	▲	▲	▲	▲	X(1)		
									M21	(注3)
JP06214	年YYYY	年YYYY		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(4)		
JP06215	月MM	月MM		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(2)		
JP06216	週W	週W (注5)		—	○(注6)	○(注6)	—	9(1)		
JP06217	日DD	日DD		—	○(注6)	—	—	9(2)		
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	○	○(注6)	—	—	—	X(2)		
JP06218	平日休日コード	平日休日の別を示すコード	○	—	—	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06220	最大最小コード	最大最小の別を示すコード	○	—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06221	最大最小予想時刻	最大最小予想時刻 hhmm		—	○(注6)	—	—	X(4)		
JP06318	販売量(確定)(kW)	電力(kW)		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	N(9)		
JP06319	販売量(確定)(kWh)	電力量(kWh)		○(注6)	—	—	—	N(9)		
JP06234	データ変更コード	M21ループ内データ要素値の変更の有無を示すコード(注7)	○	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	X(1)		
									M21	

表 3-1-3 需要抑制計画関係メッセージのデータ要素 (表 3-1-2 の続き)

タグ名	データ要素名	説明	共通コード (注1)	使用区分(注2)				属性	繰返し(注3)	
				翌日	週間	月間	年間		番号	最大回数
JP06366	取引先BGコード	取引先のBGを識別するコード	○	○	○	○	○	X(5)	M22	999
JP06367	取引先BG名称	取引先のBG名称	○	▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06234	データ変更コード	計画変更の有無を示すコード	○	▲	▲	▲	▲	X(1)		
JP06214	年YYYY	年YYYY		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(4)	M23	(注3)
JP06215	月MM	月MM		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	9(2)		
JP06216	週W	週W (注5)		—	○(注6)	○(注6)	—	9(1)		
JP06217	日DD	日DD		—	○(注6)	—	—	9(2)		
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	○	○(注6)	—	—	—	X(2)		
JP06218	平日休日コード	平日休日の別を示すコード	○	—	—	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06220	最大最小コード	最大最小の別を示すコード	○	—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	X(1)		
JP06221	最大最小予想時刻	最大最小予想時刻 hhmm		—	○(注6)	—	—	X(4)		
JP06318	販売量(確定)(kW)	電力(kW)		—	○(注6)	○(注6)	○(注6)	N(9)		
JP06319	販売量(確定)(kWh)	電力量(kWh)		○(注6)	—	—	—	N(9)		
JP06234	データ変更コード	M23ループ内データ要素値の変更の有無を示すコード(注7)	○	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	▲(注6)	X(1)		
									M23	
									M22	
									M20	

- (注1) ○: 標準として定める共通コードを示す。  
 (注2) ●: 必須項目 (空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目)  
 ○: 必須項目 (空欄可)  
 ▲: 任意項目 (項目使用、空欄許容)  
 △: 任意項目 (項目使用如何・空欄許容如何は当事業者間で取り決め)  
 —: 未使用項目 (送受信不可)  
 (注3) 繰返し最大回数は対象期間毎により以下のとおり設定する。  
 翌日: 48=48点/日  
 週間: 28=2週×7日×2 (最大/最小)  
 月間: 48=2月×6週×2 (最大/最小)×2 (平日/休日)  
 年間: 96=2年×12月×2 (最大/最小)×2 (平日/休日)  
 (注4) 「優先順位」の最劣後(しわとりを行うもの)は“99”を設定する。  
 (注5) 週間計画の翌週分は“1”、翌々週分は“2”を設定する。  
 (注6) 需要抑制契約期間外は空欄とする。  
 (注7) M12、M13、M15、M17、M19、M21、M23ループ内のデータ要素値を変更する場合は、当該項目に変更後の値を設定し、「データ変更コード」に“1”(変更有り)を設定する。  
 (注8) M12ループ内の項目は、供給地点特定番号<JP06400>を記載する場合のみ、記載する項目とする。

## 4. 通信手順

### 4.1 メッセージグループヘッダ

メッセージグループヘッダの必須項目を表 4-1 に示す値を設定し、任意項目は省略する。

表 4-1 メッセージグループヘッダのデータ要素(必須項目)

タグ名	データ要素名	説明	属性
JPC03	運用モード	1(=X'31')の時、テストデータを示す。0(=X'30')又は△(=X'20')の時、通常のデータを示す。	X(1)
JPC06	発信者コード	電文を発信する発信者の企業コードを示す。本規格では、先頭5桁を「発電計画等受領業務EDI共通規格 5.2 共通データコード」に示す送信者コード(5桁)とし、残りの7桁を“0”とした12桁のコードを使用する。	X(12)
JPC09	受信者コード	電文を受信する受信者の企業コードを示す。本規格では、先頭5桁を「発電計画等受領業務EDI共通規格 5.2 共通データコード」に示す受信者コード(5桁)とし、残りの7桁を“0”とした12桁のコードを使用する。	X(12)
JPC10	BPID機関コード	ビジネスプロトコルを制定した機関名を示す。本規格では、“OCTO”とする。	X(4)
JPC11	BPID副機関コード	BPID副機関コードを示し、各機関で業務種類など毎に採番する。本規格では、“W8”とする。	X(2)
JPC12	BPID版	ビジネスプロトコル標準のバージョン名を示す。本版は、“3A”である。	X(2)
JPC14	情報区分コード	情報の種類を示す。「発電計画等受領業務EDI共通規格 5.2 共通データコード」を参照。	X(4)
JPC19	作成日付時刻	メッセージグループの作成日付時刻(YymmddHHMMSS)を示す。(年は西暦の下2桁)	X(12)
JPC21	構文規則識別版数	シンタックスルール管理機関及びリリース・バージョン番号を示す。本規格では、“1.1-1A”とする。	X(6)

## 5. ビジネス運用規則

### 5. 1 メッセージ

#### 5. 1. 1 メッセージファイルの構成単位

メッセージファイルの構成単位を表5-1-1に示す。

表5-1-1 メッセージファイルの構成単位

メッセージ名称	説明(注)
翌日需要抑制計画メッセージ	1つの翌日需要抑制計画メッセージで1ファイルを構成する。
週間需要抑制計画メッセージ	1つの週間需要抑制計画メッセージで1ファイルを構成する。
月間需要抑制計画メッセージ	1つの月間需要抑制計画メッセージで1ファイルを構成する。
年間需要抑制計画メッセージ	1つの年間需要抑制計画メッセージで1ファイルを構成する。
翌日需要抑制計画不整合通知メッセージ	1つの翌日需要抑制計画不整合通知メッセージで1ファイルを構成する。

(注)メッセージを分割する場合は、複数のファイルが構成される。

#### 5. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則

メッセージファイルの名称付与規則を、図5-1、表5-2に示す。なお、実際のメッセージファイル名は各項目間を半角アンダーバーで区切り、拡張子は“.xml”とする。

##### ①需要抑制計画関係ファイル

B P I D 副機関コード	情報区分 コード	対象時期の 開始日	分割 番号	送信者 コード	提出先事業者コード 下一桁	当日仕上がり最終値 フラグ・分割総数
-------------------	-------------	--------------	----------	------------	------------------	-----------------------

##### ②不整合通知関係ファイル

B P I D 副機関コード	情報区分 コード	対象時期の 開始日	分割 番号	送信者 コード	受信者コード	連番
-------------------	-------------	--------------	----------	------------	--------	----

図5-1 メッセージファイル名称構成

表5-2 メッセージファイル名称付与規則

項目	属性	内容
B P I D副機関コード	X(2)	“W8” 固定
情報区分コード	X(4)	ファイルを構成するメッセージの種類を識別(注) 翌日需要抑制計画の場合 “0110”
対象時期の開始日	Y(8)	当該メッセージが対象とする時期の開始年月日(YYYYMMDD)を設定 年間計画の対象時期が2016年度～2017年度の場合 “20160401”
分割番号	9(2)	初期番号は“00”、分割するファイル毎に“01”から昇順に付与
送信者コード	X(5)	ファイルを送信する事業者を示すコード(注)
提出先事業者コード下一桁	X(1)	ファイルを送信する事業者の需要エリアを示すエリアコード
当日仕上がり最終値フラグ・ 分割総数	9(2)	◆需要抑制契約者から本機関への提出ファイル NULLとする ◆本機関から送配電事業者への提出ファイル 当日仕上がり最終値の場合ファイル分割の総数とし、分割がない場合は“01” 当日仕上がり最終値以外の場合 NULL とする。

受信者コード	X(5)	ファイルを受信する事業者を示すコード(注)
連番	X(2)	提出先事業者単位にファイルを作成する場合は"00"とする。

(注)「発電計画等受領業務 EDI 共通規格 5. 2 共通データコード」を参照

### 5. 1. 3メッセージの分割 (オプション)

トランスレータの制約 (繰返し回数やメッセージサイズの制限) や「3. 標準メッセージ」に示す最大繰返し回数を越えるためメッセージを分割する場合は、「発電計画等受領業務 EDI 共通規格」に従って同一のキー項目値をもつメッセージを作成するとともに、当該メッセージファイル名の分割番号を"0 1"から昇順に付与する。(図5-2参照)。

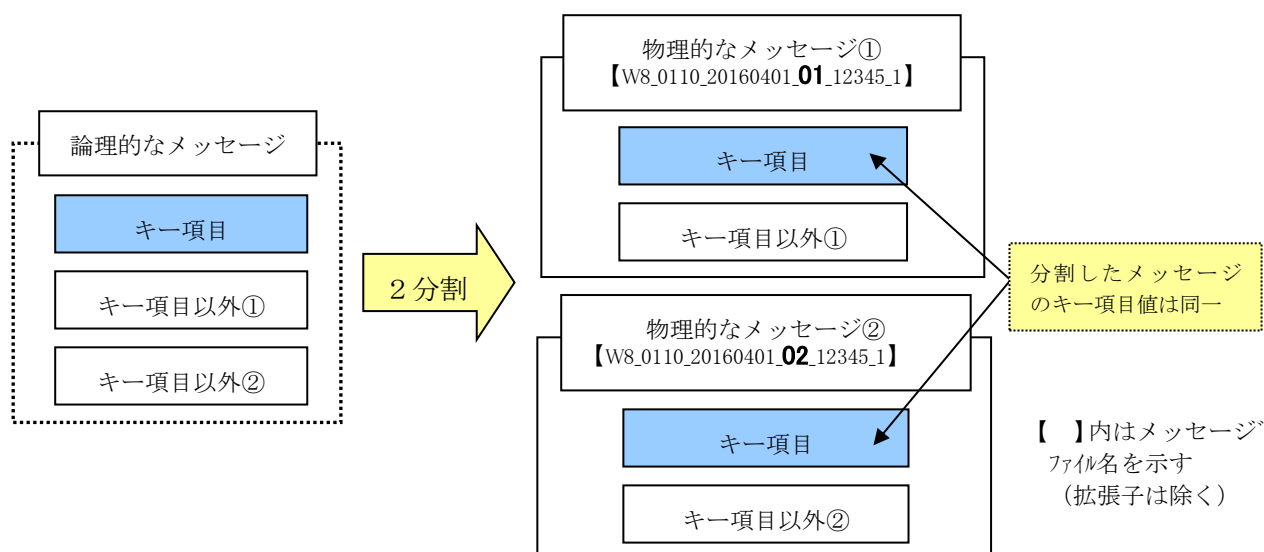
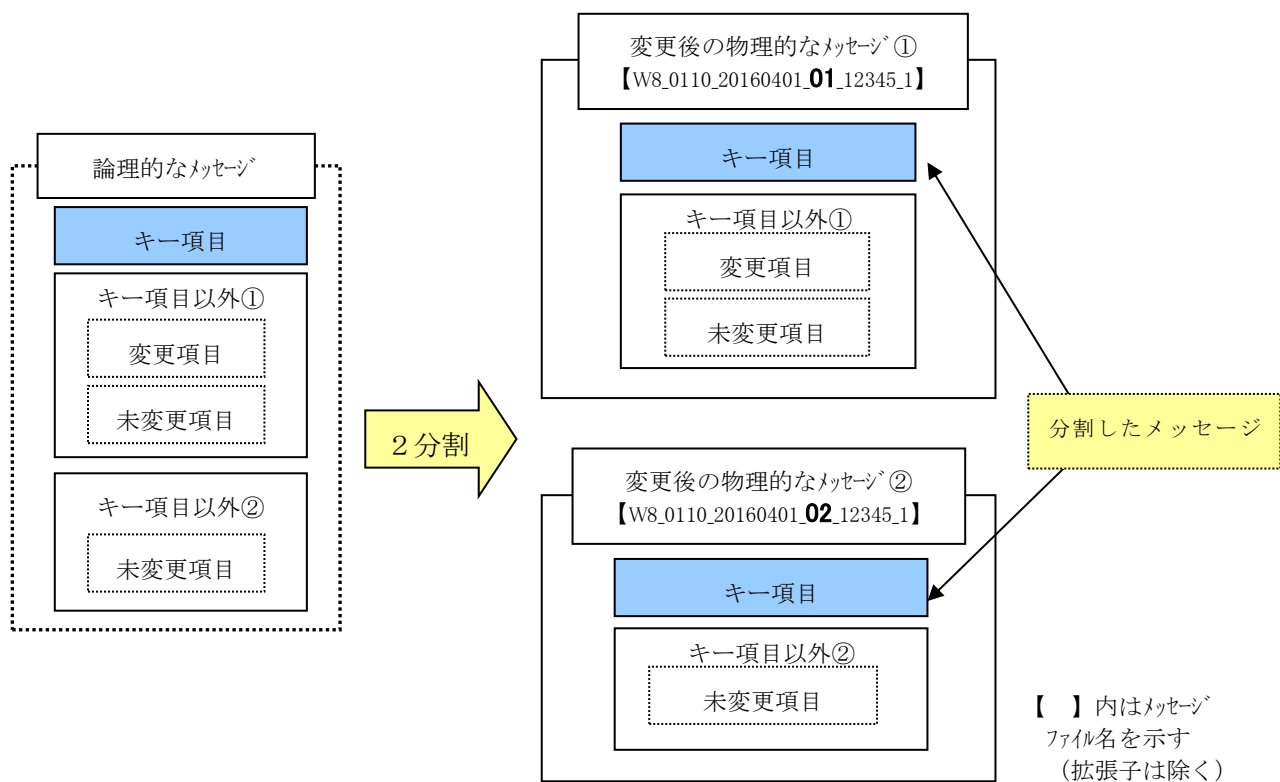


図5-2 メッセージの分割イメージ (2分割の例)

また、図5-3に示すとおり、分割されたメッセージに対する変更 (キー項目以外の変更、「発電計画等受領業務 EDI 共通規格」参照) は、論理的なメッセージに対して行うものとする。



※図 5-2 の物理的なメッセージ①、②を変更する場合  
 図 5-3 分割メッセージの変更イメージ (2分割の例)

#### 5. 1. 4 送信者への受信結果の報告

受信者は、送信されたファイルの受信処理を行い、その結果を送信者に通知する。

以上